

# 公約実現へ3議席の力で

## 田中 はじめ

選挙中、街頭から「原発のない松江を子どもたちに」と訴える私に、下校途中の中学生が次々と大きく手を振ってくれる姿。彼らの未来のために私たちが頑張らなければと強く感じました。

コロナ第4波が松江にも迫っています。無症状感染者を一刻も早く発見し、その方を責めるのではなく守ることで、感染拡大を防ぐ体制をつくらなければなりません。そのためPCR検査体制の強化を求め取り組めます。

の訴えに、聞いておられた市民の方から「我が子が足を怪我したとき、つらい思いをしたら。ぜひ実現して」と激励が寄せられました。

市民の皆様は訴えた公約を、いただいた3議席の力で実現するため全力で頑張ります。

そして、公約実現の確かな展望を切り開く、総選挙での共産党躍進、野党連合政権への政権交代実現の闘いに取り組みます。



田中 肇  
市議会議員

「市内小中学校のトイレの6割がいまだに和式トイレのまま。子どもたちから『学校のトイレを使いたくない』という言葉が出ない政治を」と

市議会の皆様は訴えた公約を、いただいた3議席の力で実現するため全力で頑張ります。

そして、公約実現の確かな展望を切り開く、総選挙での共産党躍進、野党連合政権への政権交代実現の闘いに取り組みます。

# 現場の声を届けてがんばります

## 舟木 けんじ



舟木 けんじ  
市議会議員

皆様のご支援で議席獲得へと押し上げていただきました。

この間、教職員後援会が呼びかけた『集い』やアンケートでは、「児童用の洋式トイレが少ないため休み時間に列ができる。職員トイレは和式のみ。洋式トイレをつくってほしい」「新築校舎は冷暖房が整っている一方、古い校舎の学校の特別教室は夏期30℃越え。教育環境の差をなくしてほしい」との切実な声が寄せられました。

持つなど緊急避難的な対応に迫られている学校があちこちで生まれている厳しい現状が続く学校現場に堪えられないという問題があるようです。

子どもたちの輝く笑顔をつくるためには、教育条件整備とともに、教職員の長時間過密労働の改善が必要です。

こうした現場の声を届けるとともに、コロナの第四波への対応を含め、市民誰にも光のあたる市政をめざしてがんばります。皆様の引き続きのご支援よろしく願います。

# 市長選を闘って

## 吉儀 けい子

このまま選挙に入れば、新しく当選する市長・市議会議員は、島根原発2号基の再稼働を判断する重要な役割があるにも関わらず、選挙の争点にならないまま選挙に突入する。3人の党市議候補押し上げのために「私が市長に立候補するしかない」との思いで立候補を決意しました。

告示の期間中、1日13ヶ所以上街頭から訴えました。原発から5キロの地点にある大型団地で、夕方暗くなる頃訴えていると、ドアを開けて寒い中聞いて下さり励ましていただいた女性。犬の散歩の途中、私の訴えに最後まで足を止めて聞いて下さった男性。マーケットの前で訴えていると、駐車場に車を止めた男性が、車を降りてだんだん近付いてきて、最後は私に「言われることにすべてに賛同します。頑張ってください」と励ましの言葉をかけていただいたこと等様々なドラマ

がありました。

選挙後、マーケットで買物をしていると、マスクで顔が隠れているのに私だと分かった方が「入れましたよ」と声をかけて下さいました。3人の党市議団誕生を喜び「次は、衆議院選挙があるので引き続きよろしく」とお願いし、市政の根本に横たわっている国政問題を変える選挙にしなければと思いをさせています。

皆様のお力で、日本共産党の三議席、議案提案権の確保、そしてお二人の新人議員への交代を達成できました。

# 激戦を闘いぬいて

## あなたが大切にされる政治を たちばな ふみ

多くのみなさまのご支援で、当選させていただきました。

私は、①ジェンダー平等社会をめざす(男女同一賃金、8時間働けば誰でもが人間らしく暮らせる社会を)、②くらし家計応援の政治を(介護保険料、国保料ひき下げ、もっ

と子育て支援、給食費をはじめとする保護者負担を軽く、中学卒業まで通院医療費無償に) ③島根原発はもう動かさない(避難計画が不安、ふるさとを捨てたくない)と、この間訴えてきました。

コロナ禍で、女性や子どもたち、パートやアルバイトなどの不安定雇用の方に困難がのしかかっていることを実感しながらの選挙戦でした。ここ20年政府が進めてきた雇用の非正規化が、災害時にここまで国民を苦しめたのです。女性たちが、これまでの苦難、子育てのために「仕事を

やめるしかなかった」「配置転換や非正規雇用になる」「働いても働いても楽にならない」など、わたしの話に共感し、涙を流してきてくれる方もありました。また、演説を聞いて「今まで投票に行かなかったけど今回は行く」と応援してくれる人もありました。

「10年後、20年後の未来を一緒に」「次世代のためにがんばってほしい」選挙戦の中であげられた言葉です。

みなさんのお約束を実現するため力をつくします。



吉儀 けい子  
市長候補

励ましの言葉をかけていただいたこと等様々なドラマ

がありました。

選挙後、マーケットで買物をしていると、マスクで顔が隠れているのに私だと分かった方が「入れましたよ」と声をかけて下さいました。3人の党市議団誕生を喜び「次は、衆議院選挙があるので引き続きよろしく」とお願いし、市政の根本に横たわっている国政問題を変える選挙にしなければと思いをさせています。

皆様のお力で、日本共産党の三議席、議案提案権の確保、そしてお二人の新人議員への交代を達成できました。



たちばな ふみ  
市議会議員

と子育て支援、給食費をはじめとする保護者負担を軽く、中学卒業まで通院医療費無償に) ③島根原発はもう動かさない(避難計画が不安、ふるさとを捨てたくない)と、この間訴えてきました。

コロナ禍で、女性や子どもたち、パートやアルバイトなどの不安定雇用の方に困難がのしかかっていることを実感しながらの選挙戦でした。ここ20年政府が進めてきた雇用の非正規化が、災害時にここまで国民を苦しめたのです。女性たちが、これまでの苦難、子育てのために「仕事を

やめるしかなかった」「配置転換や非正規雇用になる」「働いても働いても楽にならない」など、わたしの話に共感し、涙を流してきてくれる方もありました。また、演説を聞いて「今まで投票に行かなかったけど今回は行く」と応援してくれる人もありました。

「10年後、20年後の未来を一緒に」「次世代のためにがんばってほしい」選挙戦の中であげられた言葉です。

みなさんのお約束を実現するため力をつくします。